

事業所名	グループホーム アミーユ大福 ※
日付	平成19年11月8日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	※

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	アミーユの理念の1つに「普通の生活の回復を目指す」というのがありますが、入居者様の入居前の生活を知り、出来るだけ、以前の生活に近づける様努力をしています。		
	スタッフとの馴染みの関係を作り、その人が、その人らしく生活できる様な環境が提供出来るようにし、外出もどンドンする様な働きかけをしてアットホームな施設にできるよう努力されています。入居者様とスタッフとの結び付きを大切にしながら残存機能を活かした生活、過剰介護にならないように職員の質向上を目指しています。		
	地域との交流を図り地域住民の1人である事を地域の皆様にも認識して頂けるような働きかけを行い、地域全体で入居者様の生活をフォローしていきたい。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	スタッフの入れ替わりがないよう、顔なじみの関係が出来る様に努力をしています。施設をアットホームな装いにし、家族にも声掛けを行い、出かけるだけ足を運んでいただいたり、一緒に外出する機会を設ける様に取り組んでいる。		
	各居室には、自宅で使用していた家具などの、馴染みのある物を持って来ていただいている。外には畑のスペースもあり、色々な野菜や花の栽培など、昔から行っていた趣味や役割をもっともらうなどの「場」として活用している。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <p>田園が見られる静かな新興住宅地に位置しているが、国道2号線バイパスが近くを通り、都市生活の環境のようである。</p> <p>経営母体が全国介護事業グループであり、各種のマニュアルも整備され、職員の資質の向上が図られている。平成19年度よりアミーユ理念が新しく改定され、特に2の「普通の生活」の回復を重視する]理念をケアアドバイザー、管理者職員が共に理解し穏かな態度で入居者様の尊厳を大切にしながらの援助が窺えました。</p> <p>関連医療機関との緊密な連携により、看取り介護、緊急介護等協力体制が整っており、現場職員、入居者様、家族も安心して生活できる仕組みがなされている。</p> <p>情報報告にしても毎月の「家族の広場」新聞の発行 (紙面にはテーマに入居者様と家族様より原稿を頂き同じ立場での共感や交流)、ご意見ご要望カードの記入など、意見が非常に参考になり介護の方法・個別介護計画作成に役立て実践している。</p> <p>家族交流についても、「わくわく家族ツアー」という家族旅行企画を年数回行っている。車椅子利用者や体力に自信のない人でも参加出来るように交通手段、旅行行程にも配慮され様々な外出活動を計画され美術館、コンサートなど医療、福祉グループにより生き甲斐対策も幅が広い。</p> <p>各ユニットに愛犬、愛猫が入居者、職員に愛嬌を振りまき、精神的ゆとりで施設全体を温かく織り込んだ支援が取り入れられている。</p> <p>職員の連携が良く日常業務も自然で指示、命令の声掛けもなくチームワークの良さが感じられ、「心の介護ができる職場」と話す。</p> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>地域交流が、今一層図られますように。</p>
--

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	各個人に合った事柄をそれぞれにお手伝いして頂き、洗濯物たみ、食器洗い、食事の用意などスタッフと一緒に、会話の中で色々な事を教わったり、作業をしながら一人ひとりの培ってきた経験を尊重した支援で、生活の意欲を持つ取り組みを行っている。プライバシー保護に関しても、色々な場面で、入浴の準備、出入りの工夫、排泄時の様々な援助方法など全てにおいても尊厳の保持に心掛けた、自然な形で、気配りのある様子が窺える。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	事故 (施設内外) が起こった場合は、その都度事故報告書に記載し、カンファレンスで話し合い、予防と解決に努めている。看護師による現場での個別指導は介護の知識、技術の質の向上を図っている。		
	ご意見、ご要望カードを活用し、入居者様や家族様からのご意見を頂きケアに反映させ介護計画に取り組んでいる。		
	地域との交流が図れないため、地域のお祭りに参加したり、町内会に加入したり様々な努力をされている。少しずつだが地域との交流もとれてきた。		